

北朝鮮による拉致問題の究明と被害者の早期救出を求めて

家族を、人生を奪い去った北朝鮮による拉致。ある日突然連れ去られ、今も救出を待ち続けています。それが、もしも自分だったら、家族だったら・・・。

私たちの身近に拉致問題という問題があり、いまだに解決していないことを知ってください。そして、拉致問題に関心を持ってください。それが、この問題解決の大切な一歩となります。

■ 拉致被害者救出のシンボル



ブルーリボン

日本海の青と被害者と家族をつなぐ空の青をイメージしています。

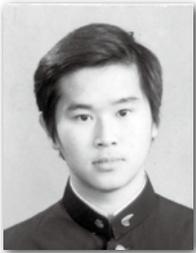
消えた川口の5人



〈政府認定拉致被害者〉
たぐち やえこ
田口 八重子さん (22)
S 53.6.29 拉致

1歳と2歳の子を残して東京池袋から北朝鮮に拉致される本籍 川口市

特定失踪者問題調査会によれば、特定失踪者は、全国で約470人いるとされ、今も北朝鮮で救助を待ちんでいます。
※特定失踪者…北朝鮮による拉致の疑いを排除できないかた



〈特定失踪者〉
ふじた すずむ
藤田 進さん (19)
S 51.2.7 失踪

新宿にガードマンのアルバイトに行くと言って川口市の自宅を出たまま行方不明
川口西中、浦高卒
本籍 川口市



〈特定失踪者〉
いのうえ かつよし
井上 克美さん (21)
S 46.12.29 失踪

川口市内で忘年会後に友人と別れ、その後行方不明、長男が生まれる直前だった



〈特定失踪者〉
ささき えつこ
佐々木 悦子さん (27)
H 3.4.22 失踪

会社に行くと言って浦和市の家を出たまま行方不明
岸川中、川口女子高卒
脱北者による目撃情報がある



〈特定失踪者〉
あらかき あきら
新木 章さん (29)
S 52.5.21 失踪

川口市の自宅から外出したまま行方不明
川口南中、川口商業高卒

※年齢は拉致失踪当時

拉致問題とは

1970年頃～80年頃にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在、17人が政府に拉致被害者と認定されています。平成14年9月に北朝鮮は日本人拉致を認め、同年10月に5人の被害者が帰国しましたが、他の被害者は未だ北朝鮮から納得のいく説明はなく、事態の進展がありません。

拉致問題は、日本の主権・国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、その解決は外交に委ねるほかありません。その解決は、本市は政府認定拉致被害者・特定失踪者がいる自治体として、市民の皆さんと一体となって早期解決を訴え続けることを何よりも大切なことと考え、問題の周知・啓発に積極的に取り組んでいます。

わたしたちができること

拉致問題の解決には、国民世論の盛り上がりが必要です。そして、日本国民の強い意志を北朝鮮に示していくことが必要です。

本市では、政府への要望書・署名簿の提出や、たたら祭り会場での署名活動など拉致問題を風化させないよう、また解決に向けた気運が高まるよう、市民の皆さんとともに取り組んでいます。今後もしつそうのご理解と拉致被害者ご家族への温かい支援をお願いします。

署名にご協力を

本市では、拉致被害者などの早期帰国と拉致問題の真相解明を求める署名を募り、累計で32万筆を超える署名が集まっています。「拉致問題を考える川口の会」では、毎月第1日曜日に川口駅東口で署名活動を行っています。皆さん一人一人の署名は、解決の糸口が見つからない中、被害者家族が活動を続けていく上で何よりの励みになっています。

ぜひ、ご協力をお願いします。

写真展

田口八重子さん

拉致されて

39年!

政府認定拉致被害者の田口八重子さんが昭和53年6月29日に拉致され、今年で39年になります。

期間 6月28日(水)～7月2日(日)

時間 10時～17時

場所 中央図書館入り口(キュポ・ラ5階)

問い合わせ・・・福祉総務課 ☎048-259-7929 FAX048-255-3188

拉致問題を考える川口の会 代表 前原 博孝 ☎090-4423-8097 特定失踪者問題調査会 ☎03-5684-5058